

【運転・定検状況（区分）】

平成 17 年 7 月 8 日

6号機原子炉建屋内での溢水について

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

6号機は、定格熱出力一定運転中ですが、平成 17 年 7 月 7 日午前 8 時 22 分頃、原子炉建屋 2 階にある使用済燃料プール冷却浄化系 ポンプ室内で、当社社員が使用済燃料プール冷却浄化系の弁点検のため水抜き作業を実施していたところ、2 箇所のだレン中継箱（一時的に排水を受ける容器）から水が溢れていることを別の社員が発見しました。

溢れた水はすべて室内の堰内にとどまっており、漏えい量は約 50 リットル、放射エネルギーは約 4×10^4 ベクレルで、拭き取りなどにより回収、処理しました。

原因は、水抜き作業中、だレン中継箱への流入量が一時的に増加し、排出量とのバランスがくずれ、中継箱から排出しきれなくなったため、水が溢れたものと推定しております。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

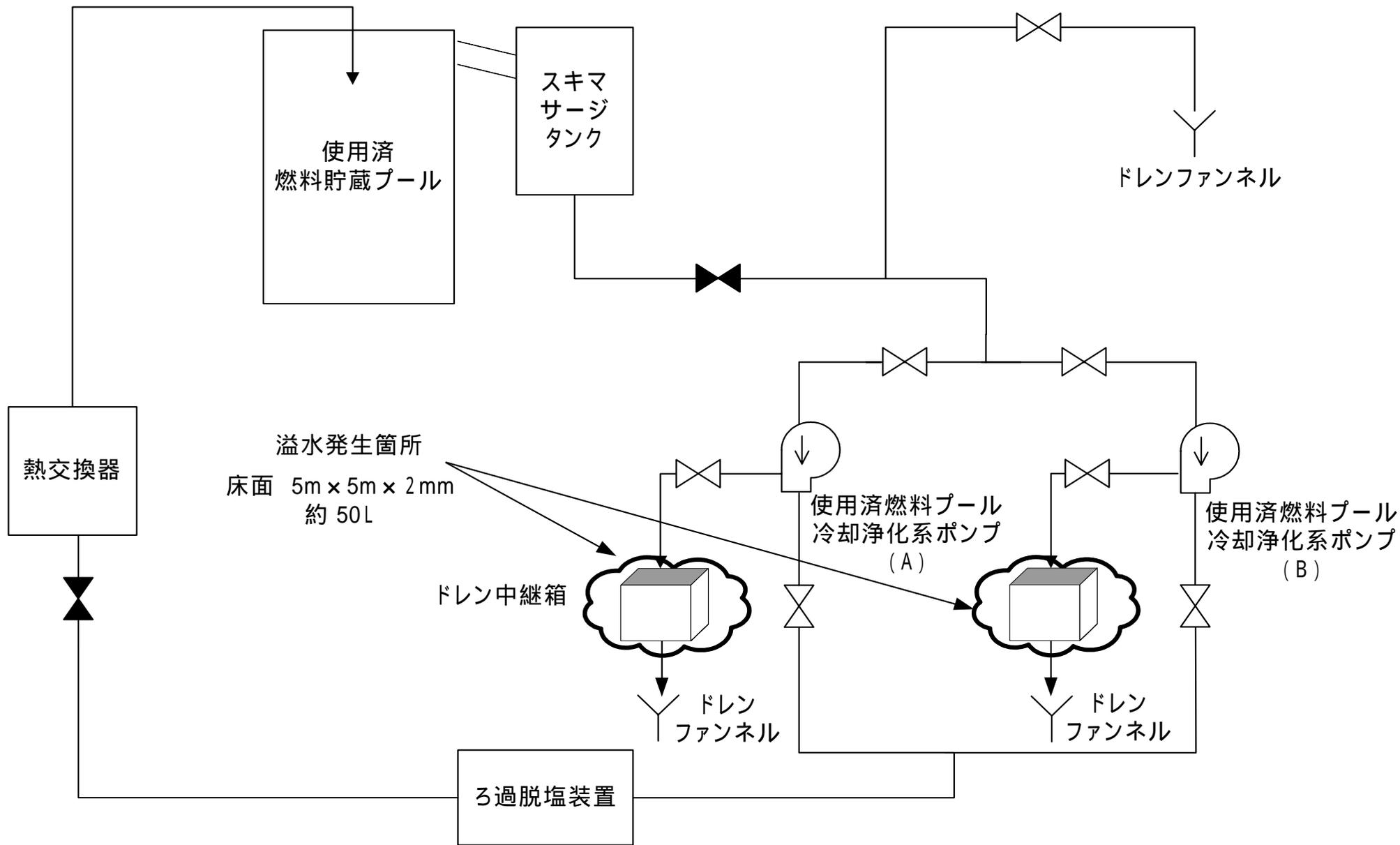
以上

：使用済燃料プール冷却浄化系

使用済燃料プールの水を冷却しながら不純物を取り除き水質を保つ浄化系統。

本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分 の事象として、発生した不適合事象を翌営業日に取りまとめて公表しているものです。

（不適合事象の公表基準：<http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/kijyun.pdf>）



6号機 使用済燃料プール冷却浄化系 系統概略図